

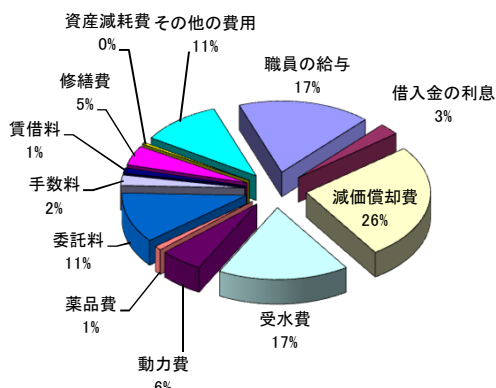
平成27年度水道事業決算状況

私たちの生活に欠かせない水道水をご家庭にお届けする水道事業は、水道料金の収入を主な財源として、独立した会計で運営しています。そのため水道事業会計は、税金を財源とする一般会計と区別し、「特別会計」とされています。

町議会において、平成27年度の決算が認定されましたので、その状況についてお知らせします。

	1㎡当たり費用額 (円)
職員の給与	34.92
借入金の利息	5.34
減価償却費	52.99
受水費	34.36
動力費	11.22
薬品費	1.91
委託料	22.88
手数料	4.7
賃借料	2.48
修繕費	8.94
資産減耗費	0.85
その他の費用	21.18
計	201.75

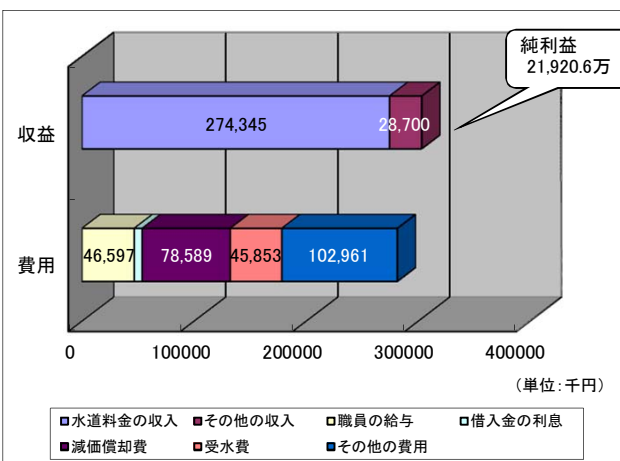
水道水1㎡当たりの費用 201円75銭



収益的収支・・・水をつくり、ご家庭にお届けするための収支を表したものです。

※平成27年度決算においては、2,192万1千円の純利益となり、繰越欠損金は9,663万1千円に減少しました。

(単位:円)		
収益(収入)	水道料金の収入	274,345,110
	その他の収入	28,700,321
費用(支出)	職員の給与	46,597,077
	借入金の利息	7,124,698
	減価償却費	78,588,745
	受水費	45,852,932
	その他の費用	102,961,372
	賃借料	2,480



※受水費・・・埼玉県企業局からの県水購入費

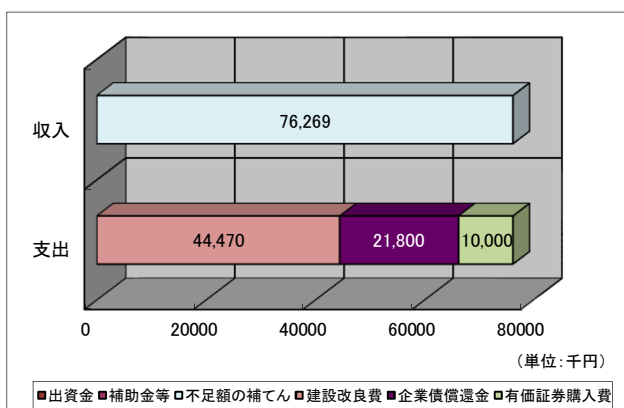
※減価償却費・・・水道管などの資産の使用時の経過によって生じる減耗分を費用化

(単位:円)	
収入	303,045,431
支出	281,124,824
純利益	21,920,607

資本的収支・・・浄水場の改良や水道管の布設など施設を整備拡充するための経費と財源です。

※資本的収支の収入は、国、県または町(一般会計)などからの負担金、出資金及び補助金などであり、支出に対する不足額は、実際の現金支出がない収益的支出の減価償却費など(過年度分損益勘定留保資金)で補てんしました。

(単位:円)		
収入	企業債	0
	出資金	0
	不足額の補てん	76,269,400
	補助金等	0
支出	建設改良費	44,469,526
	企業債償還金	21,799,874
	有価証券購入費	10,000,000



平成27年度に行なった主な建設改良事業

(単位:円)

津久根地内石綿管更新工事	16,759,592
堂山地内石綿管更新工事	2,530,209
上野地内民地内配管解消工事	2,183,689
黒山地内送水、配水管布設替工事	1,957,989
大谷地内配水管更新工事	1,701,051
大満浄水場送水ポンプ付属設備更新工事	1,134,000
成瀬地内連合線改良工事	1,061,916
大満地内配水管布設替工事	1,049,758

有収水量と純利益・給水人口と有収水量の推移

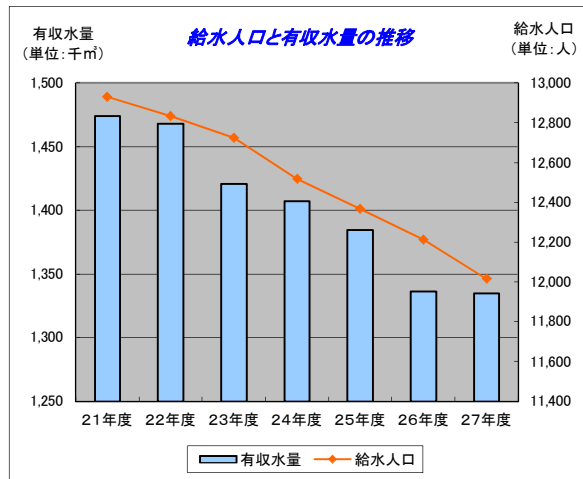
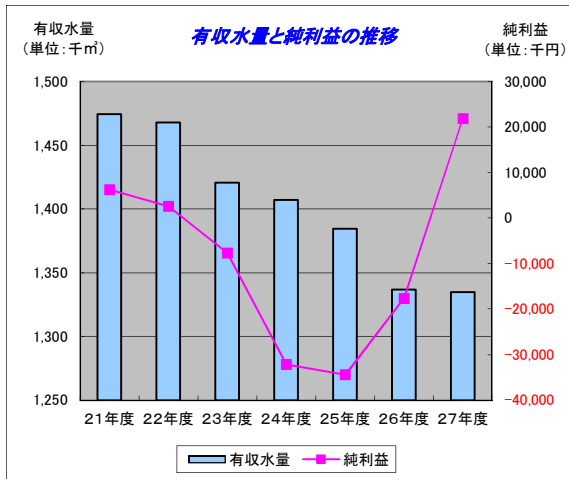
下記のグラフは、過去7年間の有収水量(使用水量のうち料金収入の対象となった水量)と、純利益(収益的収支の収入と支出の差額)及び給水人口の推移を示しています。

水道料金が収入の9割以上を占めているため、有収水量の増減が純利益に与える影響が大きい状況にあります。

有収水量(水需要)は、近年の節水意識の向上並びに人口の減少などから年々低下しております。

一方、純利益は、平成22年度まで黒字決算となっておりますが、平成23年度から赤字に転じ減価償却費が増大する反面、給水収益の減少に伴い平成26年度まで赤字となっておりました。このような状況のなか、赤字解消を主な目的とし平成27年4月から17年ぶりに料金改定を行い、平成27年度決算では純利益2千万円を計上し1億円を超えている累積赤字を減少させることができました。

水道事業は、安全な水を安定して供給するために、老朽化が進む施設の更新整備が不可欠であり、これに必要な額の純利益が将来にわたって確保されなければなりません。料金改定を行い利用者の皆様にはご負担をおかけしておりますが、水道事業におきましても引き続き経営改善を図ってまいりますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。



平成27年度 越生町水道事業 貸借対照表・損益計算書

《貸借対照表》

貸借対照表は企業の財政状態を明らかにするため年度末において保有する全ての資産、負債及び資本を総括的に表した報告書です。

(単位:円)

資産の部		負債の部	
固定資産	1,502,872,075	固定負債	148,663,036
有形固定資産	1,472,163,576	企業債	148,663,036
無形固定資産	10,708,499	流動負債	72,127,305
投資	20,000,000	企業債	22,785,052
流動資産	290,975,533	引当金	4,418,000
現金預金	268,581,963	未払金	44,888,430
未収金	10,757,858	預り金	32,475
貯蔵品	11,835,712	前受金	3,348
その他流動資産	△ 200,000	繰延収益	142,514,282
		長期前受金	449,652,410
		長期前受金収益化累計額	307,138,128
		負債合計	363,304,623
		資本の部	
		資本金	1,213,863,600
		自己資本金	1,213,863,600
		剰余金	216,679,385
		資本剰余金	22,079,410
		利益剰余金	194,599,975
		資本合計	1,430,542,985
資産合計	1,793,847,608	負債・資本合計	1,793,847,608

《損益計算書》

損益計算書は一事業年度における企業の営業成績を明らかにするために、その年度中に得たすべての収益からそれを得るために要した費用を記載し、純損益を表示した報告書です。

(単位:円)

収入の部		支出の部	
営業収益	291,303,752	営業費用	273,888,885
給水収益	274,345,110	原水及び浄水費	104,087,958
受託工事収益	3,572,722	配水及び給水費	37,567,543
その他の営業収益	13,385,920	受託工事費	3,872,438
営業外収益	11,741,679	総係費	48,623,656
受取利息	154,473	減価償却費	78,588,745
他会計補助金	1,623,788	資産減耗費	1,134,881
長期前受金戻入	7,865,692	その他営業費	13,664
雑収益	2,097,726	営業外費用	7,133,912
特別利益	0	支払利息	7,124,698
固定資産売却益	0	雑支出	9,214
過年度損益修正益	0	特別損失	102,027
		固定資産売却損	0
		過年度損益修正損	102,027
		支出合計	281,124,824
		当年度純利益	21,920,607
収入合計	303,045,431	合計	303,045,431